

2021年11月4日

## 隈研吾建築都市設計事務所の設計による躍動感あふれるスポーツ施設 Jリーグ所属「FC町田ゼルビア」のクラブハウスが上棟 鉄骨造にCLTを併用したハイブリッド構造

### ニュースポイント

ナイス株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：杉田 理之）はこのほど、東京都町田市において建築を進めている、サッカーJリーグ所属で同市を本拠地とするサッカーチーム「FC町田ゼルビア」のクラブハウスについて上棟いたしましたのでお知らせいたします。

本工事は、FC町田ゼルビアの運営会社である株式会社ゼルビア（本社：東京都町田市、社長：大友 健寿）が、町田市から鶴見川クリーンセンターの一部となる4万2,044.52㎡の土地を借り受けて進めている、J1クラブライセンスの充足に向けた整備事業の一環で、同敷地において、クラブハウス2棟のほか、2面の天然芝グラウンドの整備が進められています。

このたび上棟したクラブハウスは、隈研吾建築都市設計事務所が設計・監理を担当したもので、構造は鉄骨造とCLTを組み合わせたハイブリッド構造となります。閑静な住宅街と緑豊かな環境と調和しながらも、スポーツ施設らしさを演出するために、屋根を斜めに大きく跳ね上げ、更にその下を開放的なテラスとしています。これにより、光を取り入れた明るい室内とするとともに、スポーツ施設らしい躍動感が感じられる構成となっています。そのほか、大小様々な大きさの窓をリズムカルに配置し、緑豊かな周囲の景色やグラウンドの練習風景を室内に取り入れる工夫が施されています。当社は元請けとして、全体の施工監理を行うとともに、主に木部分の調達・施工等を行っております。

当社は引き続き、持続可能な社会の実現に向けて、木の限りない可能性を生かした建築物への木材利用の促進に努めてまいります。





## 建築概要

建築面積：1,107.86 m<sup>2</sup>  
延べ床面積：1,775.21 m<sup>2</sup>  
構造：鉄骨造一部木造 2階建て  
鉄骨造 平屋建て  
工期：2021年4月～2022年2月

木材使用量：CLT 34 m<sup>3</sup>  
TJIジョイスト 14 m<sup>3</sup>  
事業主：株式会社ゼルビア  
設計：監理：隈研吾建築都市設計事務所  
施工：ナイス株式会社木構造事業部



### CLTを屋根の野地板に採用

本クラブハウスは、鉄骨造のブレース付きラーメン構造で、屋根を木造とするハイブリッド構造が採用されています。

屋根については、野地板に株式会社鳥取CLTによる36mm厚のCLT「CLT36」を34 m<sup>3</sup>使用しており、このCLTは補助的な水平構面も構成しています。



### 外周部ではTJIジョイストを最大3.5m跳ね出し

屋根の垂木には、軽量でありながらロングスパンに適した強度があるTJIジョイスト※を600mmピッチで設置し、約14 m<sup>3</sup>用いています。屋根梁は幅広のH型鋼とし、その上に105mm角のスギJAS材を配置し、これと垂木を接続しています。

外周部は跳ね出し梁としており、最大3.5m跳ね出させています。

※アメリカのウェアハウザー社が開発したOSBとLVLを複合した構造部材



### ケヤキを想起させる「コエダフレーム」

チーム名である「ゼルビア」は、ケヤキを意味する「ゼルコバ」と、町田市の市花である「サルビア」を合わせた言葉であることから、ケヤキの枝を想起させるデザインが取り入れられています。

TJIジョイストを枝に見立て、跳ね出した屋根の部分で斜めにつなげることで、ケヤキの枝の広がりを感じさせるフレーム構成としています。

## お問い合わせ先

ナイス株式会社 管理本部 広報部 堀井・内野 TEL：045-501-5048 FAX：045-502-5891  
〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル 8階